

令和 7 年度

第 1 回

三鷹市健康福祉審議会 会議録（要旨）

1 日 時	令和7年5月30日（金）19:00～20:15
2 会 場	教育センター 3階 大研修室
3 出席委員 (15人)	<p>【会場参加】</p> <p>宇井義典（会長）、和田敏明（副会長）</p> <p>影山悦子、苗村深、有江典子、内原正勝、五島博樹、星野博忠、竹内美佐子、香川卓見、新津健朗、竹川健太郎</p> <p>【オンライン参加】</p> <p>山本真実、田原なるみ、飯塚喜弘</p>
4 市出席者 (15人)	<p>小嶋義晃（健康福祉部長）、隠岐国博（健康福祉部調整担当部長）、木村祐介（地域福祉課長）、畠根毅晴（障がい者支援課長）、香川稚子（障がい者相談支援担当課長）、鈴木政徳（高齢者支援課長）、竹内康真（介護保険課長）、川口真生（生活福祉課長）、高橋逸平（福祉支援担当課長）白戸謙一（健康推進課長）</p> <p>清水利昭（子ども政策部調整担当部長）</p> <p>近藤淳哉、山口桃子、池田辰哉、高砂素野子（地域福祉係）</p>
5 会議の公開 ・非公開	公開
6 傍聴人数	0人
7 会議次第	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和7年度健康福祉部及び子ども政策部関係事業の概要について</p> <p>(2) 給付金事業について</p> <p>3 協議事項</p> <p>「認知症にやさしいまち三鷹条例（仮称）」の構成案について</p> <p>4 その他</p>
8 資料	<p>【配付資料】</p> <p>(1) 令和7年度第1回三鷹市健康福祉審議会 次第</p> <p>(2) 令和7年度第1回三鷹市健康福祉審議会 席次表</p> <p>(3) 【資料3差替】「認知症にやさしいまち三鷹条例（仮称）」の構成案について</p> <p>【事前送付資料】</p> <p>(1) 【資料1】令和7年度健康福祉部・子ども政策部組織図及び関係事業の概要</p> <p>(2) 【資料2】価格高騰重点支援給付金</p> <p>(3) 【資料3】「認知症にやさしいまち三鷹条例（仮称）」の構成案について</p> <p>(4) 令和6年度第4回三鷹市健康福祉審議会会議録（要旨）（案）</p>

[ 開 会 19時00分)]

1 会長あいさつ

省略

2 報告事項

(1) 令和7年度健康福祉部及び子ども政策部関係事業の概要について

【健康福祉部調整担当長】【地域福祉課長】【障がい者支援課長】【高齢者支援課長】【介護保険課長】【健康推進課長】【子ども政策部調整担当部長】

(事前送付資料(1)に沿って報告)

(質疑応答)

【委員】 HPVワクチンキャッチアップ接種の継続ということで、三鷹市ではプレコンセプションケアを進めていると思います。やはりHPVワクチンを受けるに当たり小学生、中学生のうちから「命の教育」や「男女の違い」などについて教えていかないと、「なぜワクチンを受けなくてはいけないか」という理解がなかなか進まないのではないかと思います。

現在助産師会では、中学校4校から「命の教育」に来てほしいという依頼があり、学校単位で実施しています。他市区でも実施しているところがあるので、三鷹市でこの事業への助成をしていただいて広めていけるようお願いしたいです。

【健康推進課長】 HPVワクチンについては、その効果とリスクなどの最新情報を対象者に提供し、ご判断いただいたうえで接種いただくことが重要と考えています。個別の通知などで勧奨を実施するとともに、広報・ホームページ等での周知に努めてまいります。

【健康福祉部調整担当部長】 貴重なご意見をありがとうございます。様々な関係機関との調整も必要になってくるため、まずは、他市区の状況等を研究させていただきながら検討を進めていきたいと思っています。

【委員】 ワクチン接種による副反応についての状況はどうでしょうか？

【委員】 特に問題になる状態はないようです。

【委員】 産後うつが問題になっていると聞いています。三鷹市に産後ケアの宿泊型の施設があるということをお母さんたちは知っているのでしょうか。例えば出産の際にお知らせするなど、周知をしっかりとすることが大事だと思います。

【子ども政策部調整担当部長】 妊娠届を提出いただく際に、全ての方にサービスについての資料も配付しながらご説明をしております。産後ケアのこともご存じの方が増えてきて、利用される方も増えています。また、産後うつに関しても、見守りや支援が必要な方については一定数把握をしております。支援が必要と思われる方には、特にしっかり情報を届けて、ご利用を促すようにしているところです。

【委員】 産後ケアの宿泊型の施設もまだ始まったばかりなので、周知が行き渡っていない部分もあると思います。これから周知が進んでいけば使用頻度も上がるのではないかと思います。

【委員】 重層的支援体制の推進について、地域福祉コーディネーターがハブのような役割になり各分野の専門機関につなげていくことが非常に有効だと思っています。もっと地域福祉コーディネーターが活用されていくために、ケアマネジャーや介護サービス事業所の方々にこの事業を知ってもらうことが重要だと考えています。せっかくいい制度ですが、現場の方々に届いていないのではないかと考えております。所管する地域福祉課だけではなく、それぞれの分野の関係機関の方々と一緒になって共同で取り組んでいくべきことだと思いますので、周知も含めて重層的支援体制の推進をお願いします。

【地域福祉課長】 令和7年度の取組として、地域福祉コーディネーターがこれまでの相談記録等の情報管理がしっかりできるような体制整備を行っていきます。相談記録をまとめ内容を分析することで、関係機関へつなげていく事例等の検証や連携をスムーズに行える体制を構築していきます。

【委員】 災害時の福祉避難所について、災害時の避難所を見るとダンボールベッドが積み重なっている光景を目にします。実際に私たちはダンボールベッ

ドを組み立ててみたのですが、とても大変でした。福祉避難所のスペースは限られているので、ダンボールベッドよりも簡易ベッドの方がよいのではないかと思います。

【地域福祉課長】 福祉避難所の資機材については、防災課にて整備を行っています。現在は、簡易ベッドの配備を行っておりますが、初期の頃はダンボールベッドを配備していた可能性があります。今後については、各施設の要望等も聞き取りながら防災課と調整を図っていきます。

## (2) 給付金事業について

【健康福祉部調整担当部長】

(事前配付資料(2)に沿って報告)

(質疑応答なし)

## 3 協議事項

「認知症にやさしいまち三鷹条例（仮称）」の構成案について

【高齢者支援課長】

(配付資料(3)に沿って説明)

【委員】 権利擁護の一環として、最近問題になっている詐欺行為は一番大きな権利を侵害する行為だと考えられます。詐欺行為についての具体的な対策等を記載する予定はありますか。

【高齢者支援課長】 認知症の人は、判断能力という点で通常の方よりやや低い部分があるかと思いますので、詐欺行為にどうしても引っかかりやすいといった可能性はあります。条例の権利擁護の部分に盛り込んでいくか、あるいは今後策定する認知症の計画の中で整理していくのか、多方面から検討していきたいと思います。

#### 4 その他

##### (1) 全体を通しての質問や意見について

【委員】 災害時における要支援者・要配慮者の支援体制の強化について、福祉避難所のあり方や運営体制・マニュアルの整備など少しずつ進んできています。私どもも施設としてより一歩踏み込んだ取組をするために、実践的な訓練がとても重要だと感じています。

7月には、防災のBCPの訓練を1日ばかりで実施し、様々な課題に関して取組を進めようと予定しています。障がい者のある人が、災害の際に通ったことのないような道を通ってみる、という訓練を1回でも実施すれば、災害に対する今後の心構えがだいぶ違うと思います。

今後、地域の施設や市が連携して実践的な訓練を実施することで、連携を深めていければいいなと感じています。

【地域福祉課長】 今年度の事業の中でも、福祉避難所となる施設の方と連携して、マニュアルが実際に機能するのかといった検証をするための訓練を検討しております。

7月に予定している福祉避難所の連絡会議の中で施設の皆様にご協力をお願いしたいと考えています。実行性のある訓練を通して課題等も見えてくると思いますので、施設の皆様と一緒に検証しながら進めていきたいと思っています。

##### (2) 次回の予定

令和7年度第2回三鷹市健康福祉審議会

令和7年11月18日（火） 19：00～20：30

教育センター3階 大研修

[ 閉 会 20 時 15 分 ]